



捨て石

シリーズ～詩編～

2015/3/8

イエス様が引用した詩編

110:1 > わが主に賜った主の御言葉。「わたしの右の座に就くがよい。わたしはあなたの敵をあなたの足台としよう。	マタイ22:44 マルコ12:36 ルカ20:42
118:22-23 > 家を建てる者の退けた石が / 隅の親石となった。これは主の御業 / わたしたちの目には驚くべきこと。	マタイ21:42 マルコ12:10 ルカ20:17
41:10 > わたしの信頼していた仲間 / わたしのパンを食べる者が / 威張ってわたしを足げにします。	マタイ26:23 ヨハネ13:18
22:2 > わたしの神よ、わたしの神よ / なぜわたしをお見捨てになるのか。	マタイ27:46 マルコ15:34

イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する
<ルカ24:44>

詩編118篇19～24節

正義の城門を開け

わたしは入って主に感謝しよう。

これは主の城門

主に従う人々はここに入る。

わたしはあなたに感謝をささげる
あなたは答え、救いを与えてくだ
さった。

家を建てる者の退けた石が

隅の親石となった。

これは主の御業

わたしたちの目には驚くべきこと。

今日こそ主の御業の日。

今日を喜び祝い、喜び躍ろう。

神殿回復を願った歌

- 包囲され、破壊されたエルサレム（神殿）
 - 10 国々はこぞってわたしを包囲する
 - 11 彼らは幾重にも包囲する
- 滅ぼしつくされなかったイスラエル
 - 18 主はわたしを厳しく懲らしめられたが／死に渡すことはなさらなかった
- 神殿礼拝の復活を祝って歌う
 - 19 正義の城門を開け／わたしは入って主に感謝しよう
 - 27 祭壇の角のところまで／祭りのいけにえを綱でひいて行け。

「退けた石」が「隅の親石」に

家を建てる者の退けた石が
隅の親石となった。
これは主の御業
わたしたちの目には驚くべきこと。

- 「退けた石」
 - 異邦人によって滅ぼされ、歴史の表舞台から姿を消したイスラエル
- 「隅の親石」
 - 石造りの建造物では構造上最も重要な石
 - イスラエルが復活し、世界の中心となる<作者の願い>
- 「これは主の御業」
 - もしそうならば本当に奇跡的なこと

隅の親石



イエス様の引用<マルコ12:1>

イエスは、たとえで彼らに話し始められた。「ある人がぶどう園を作り、垣を巡らし、搾り場を掘り、見張りのやぐらを立て、これを農夫たちに貸して旅に出た。収穫の時になったので、ぶどう園の収穫を受け取るために、僕を農夫たちのところへ送った。だが、農夫たちは、この僕を捕まえて袋だたきにし、何も持たせないうで帰した。そこでまた、他の僕を送ったが、農夫たちはその頭を殴り、侮辱した。更に、もう一人を送ったが、今度は殺した。そのほかに多くの僕を送ったが、ある者は殴られ、ある者は殺された。まだ一人、愛する息子がいた。『わたしの息子なら敬ってくれるだろう』と言って、最後に息子を送った。

農夫たちは話し合った。『これは跡取りだ。さあ、殺してしまおう。そうすれば、相続財産は我々のものになる。』そして、息子を捕まえて殺し、ぶどう園の外にほうり出してしまった。

さて、このぶどう園の主人は、どうするだろうか。戻って来て農夫たちを殺し、ぶどう園をほかの人たちに与えるにちがいない。聖書にこう書いてあるのを読んだことがないのか。『家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。これは、主がなさったことで、わたしたちの目には不思議に見える。』

彼らは、イエスが自分たちに当てつけてこのたとえを話されたと気づいたので、イエスを捕らえようとしたが、群衆を恐れた。それで、イエスをその場に残して立ち去った。

ぶどう園の農夫

オーナー	神様
農夫たち	ユダヤ人
僕たち	預言者
愛する息子	イエス様

- ストーリー

- 神様は実り豊かなぶどう園をユダヤ人に預けたが、彼らはその実りを独り占めしようと、預言者たちをひどい目に遭わせ、ついには神様の愛する息子であるイエス様までも殺してしまう。

- ポイント(預言)

- イエス様は、ユダヤ人たちが自分を邪魔者扱いして殺すが、いずれ重要な役割を果たす

預言の成就

- ユダヤ人たちに捨てられた(殺された)
 - 何一つ罪を犯さず,ユダヤ人たちにとってもむしろヒーローであったイエス様を彼らは**十字架にかけて殺してしまった**
- 捨てられたはずのイエス様がやがて世界の最重要人物となった!
 - イエス様は自分の運命も,その後,自分が世界で果たす役割も知っておられた!
 - 「これは主の御業 / わたしたちの目には驚くべきこと。」

預言(詩編)の不思議

- 詩編作者は預言するつもりで言ったのではない
 - むしろ「願い」を述べただけ
- 神様はその「願い」を作者の意図とは違う方法でかなえられた

	詩編	福音書
家を建てるもの	異邦人	ユダヤ人
捨てた石	ユダヤ人	イエス様
捨てる	征服・捕囚	十字架
隅の親石	国の再興	復活・救い主

驚くべき主の御業

- 十字架で殺された死刑囚が人類の救い主となった[**史上最大の大逆転**]
 - 「十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。」〈ヘブライ2:24〉
- 人間では考えつかないようなことをなさるから「**主(神)の御業**」なのである
 - 詩編記者の願いが予想しない形で叶った
 - 殺されたはずの死刑囚が救い主になった
- 主は私たちを驚かせる
 - **十字架**は希望のシンボルである!